

「心も体もたくましい子」をめざして

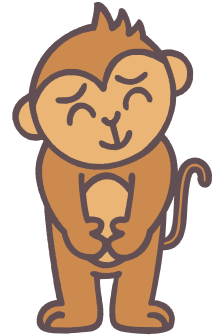
校長 鳴海 秀彦

6月1日(水)に「児童朝会」があり、今年度初めての「講話朝会」でした。私は、これから1年間、旭ヶ丘小学校の児童・教職員にこのような気持ちで過ごしてほしいと思い、次のような話をしました。「猿とチンパンジーと人間」というお話です。

すごくお腹をへらした猿がいます。一匹、二匹。二匹の猿の間に一本のバナナを置きます。猿はどうするでしょうか。(間をおく)強い方の猿が取って食べます。

では、お腹をすかした二匹の猿の間に一房のバナナを置きます。猿はどうするでしょうか。(間をおく)強い方が全部取って食べます。

それでは、弱い方の猿が食べられないので、弱い方の猿に1本のバナナをあげます。猿はどうするでしょうか。(間をおく)強い猿が弱い猿を追いかけてバナナを取り返して食べてしまいます。



すごくお腹をすかしたチンパンジーがいます。一匹、二匹。二匹のチンパンジーの間に一本のバナナを置きます。チンパンジーはどうするでしょうか。(間をおく)やはり強い方のチンパンジーが取って食べます。

では、一房のバナナを置きます。チンパンジーはどうするでしょうか。(間をおく)強い方のチンパンジーが全部取りますが、弱いチンパンジーが頂戴という一本くらいバナナをあげるチンパンジーもいます。

それでは、弱い方のチンパンジーに一本のバナナをあげます。チンパンジーはどうするでしょうか。(間をおく)強いチンパンジーが弱いチンパンジーを追いかけて取り返して食べてしまうのもいますが、強いチンパンジーは弱いチンパンジーを追いかけて取らず、自分に頂戴とお願いするチンパンジーもいます。

すごくお腹をへらした人間がいます。一人、二人。そのうちの一人は、あなた方です。お腹のすいた二人の間に一本のバナナを置きました。自分ならどうしますか。(間をおく)もし皆さんが強かったら、強い皆さんが取って食べますか。皆さんが弱かったら食べられないでしょうか。どうしますか。(間をおく)

皆さんは、猿でもないし、チンパンジーでもありません。智恵があるのです。賢いのです。「半分にして食べようね。」と言うでしょう。そして、半分にします。あれ、半分にしたときちょっと大きいのと小さいのができてしまいましたが、大きいのは相手にあげて、自分は小さいのを取って仲よく食べるでしょう。

人間は、猿やチンパンジーにない知恵と思いやりをもっています。猿は弱いもの of ことを考えることはありません。チンパンジーも時には弱いもの of 考えるものもいますが、強いものが中心です。人間は強い人でも弱い人 of 考えてあげる智恵と思いやりを持っているのです。もし、皆さんの中に、強い人が弱い人 of いじめたり、強い人が強い力 of 相手に関係なく自分勝手に思うように行動しているとすれば、それは、猿やチンパンジーの心と何ら変わりはないのです。

時々、人間にも、猿やチンパンジーの心 of 出てくることもあります。でも、みなさんは賢い人間ですから、そうした心 of 抑えて人間としての心 of いつも持つようにしなければなりません。

私たちは、本当に人間らしい人間になるように学校で勉強しているのです。旭ヶ丘小学校のみんなが人間らしい生活 of できるように頑張りましょう。

これから1年間、教育目標「生き生きと、心も体もたくましく」に関わる話をできるだけ分かりやすく子どもたちに伝えていきたいと思ひます。

保護者・地域の皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

